

ワークショップ



2025 テーマ

コスミック教育－見えないものを見る力を養う



今回の大会テーマ「次世代への責任」から、ワークショップでは「コスミック教育＝見えないものを見る力を養う」というテーマで各5領域からご紹介いたします。「非認知能力」という言葉が盛んに言われている今、モンテッソーリ教育においては、「見えないものを見る力を養う」と言えるかと思われます。すなわち「具体物から抽象化へ」あるいは「客観的思考力」や「自制」「思いやり」「創造力」などを育むことです。「コスミック教育」は、本来6～12歳の児童期に提示されるものですが、今回はその児童期—小学校へと送り出すに至るまでに必要と思われる力を、幼児期にどのように育んでいくか、という観点で以下の提示をご紹介しますと思います。

下記の一例をご参考にして頂き、ぜひご参加下さい。

* Time table

7月31日（木） 会場：419



① 9:00～10:30 <文化>

「実験」「太陽系」など夜空に瞬く「星」である「惑星」の成り立ちや、「宇宙」の始まりについて、実際に触れることのできないものを、身近な物を通して紹介していきます。



② 10:45～12:00 <日常生活>

「花の水替え」「色水注ぎ」など「日常生活の活動」の大きな目的である、環境との出会いの様々な活動を基盤に、自立へと育まれていく心の育ちに焦点を合わせて紹介いたします。



③ 13:00～14:15 <数>

「1,10,100,1000」のビーズ、カード、一致など実際に1,10,100,1000で作られているビーズを使って十進法のしくみを、更に四則の計算まで楽しく活動できるよう段階をおって紹介いたします。



④ 14:30～15:45 <感覚>

「青い立体」「アーチ作り」抽象的な幾何立体を、運動を通して筋肉記憶し感覚を通して深い記憶を生み、最終的に名称と結び付けて抽象化するプロセスを紹介します。発展してアーチ工法を紹介します。



⑤ 16:00～17:15 <言語>

「シンボルあわせ」「小さいかご」など言葉は単に会話のみのものでなく、考えるための道具(手段)であり、言葉を自由に操れることの喜びを伝えられるよう段階を踏んで紹介いたします。

Presentation 東京モンテッソーリ教育研究所付属教員養成コース